

この紙のゴール：初めて読む英文から、健康情報の要点と提案を読み取る / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

How many hours do you spend with earphones in your ears? Music on the train, videos at night. For many high school students, it adds up to several hours every day.

Deep inside your ear, there are tiny hair cells. They catch sound and change it into signals for your brain. Very loud sound can damage them, and here is the important part: once they die, they never grow back.

The World Health Organization says that more than one billion young people around the world may be putting their hearing at risk. The biggest reason is listening to loud sound for a long time.

One dangerous place is the train. Trains are noisy, so you turn the volume up without thinking. In a quiet room, the same volume would surprise you.

Doctors suggest an easy rule called 60-60: keep the volume under 60 percent, and give your ears a rest after 60 minutes.

〔語注〕 hair cells＝有毛細胞（耳のおくにある小さな細胞） hearing＝聞こえ・聴力 volume＝音量

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア イヤホンで音楽を聞く習慣そのものを、今日からやめたほうがよい
- イ 電車の中では、静かな部屋よりも音楽がよく聞こえる
- ウ 大きな音で聞き続けると、耳は元にもどらない形で傷つく
- エ 耳の細胞は傷ついても、休めば少しずつ回復する
- (2) 耳のおくの小さな細胞について、本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 大きな音を聞くほど、数がふえてじょうぶになる
- イ 一度死んでも、時間がたてば生え変わってくる
- ウ 大人になってから、少しずつ作られはじめる
- エ 音をとらえて、脳へ送る信号に変えている
- (3) 電車の中で音量を上げてしまうのはなぜ？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア まわりの音がうるさくて、音楽が聞こえにくくなるから
- イ イヤホンの音が、まわりの人にもれるのをふせぎたいから
- ウ 電車に乗ると気分が上がって、つい大きな音で聞きたくなるから
- エ 電車の中では、耳が大きな音に強くなっているから
- (4) 医師たちがすすめる「60-60」とは、どうすること？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 60分聞くごとに、音量を60%ずつ下げながら聞き続けること
- イ 音楽は1日に60曲までにして、続けて聞かないこと
- ウ 音量は最大の60%までにして、60分聞いたら耳を休めること
- エ イヤホンは左右の耳で60分ずつ、交代で使うこと

聞こえは、生え変わらない（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ウ	第2段落 once they die, they never grow back が主題の芯。アは本文にない言い過ぎ（60-60は「やめろ」ではない）、イは第4段落とずれ、エは本文と逆。
(2)	エ	第2段落 They catch sound and change it into signals for your brain。ア・ウは本文にない、イは never grow back と逆。
(3)	ア	第4段落 Trains are noisy, so you turn the volume up without thinking。イ・ウ・エは本文にない（耳が音に強くなるとは書かれていない）。
(4)	ウ	最終段落 keep the volume under 60 percent, and give your ears a rest after 60 minutes。ほかの3つは60という数字だけ合わせた誤答。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

階段は01～03と同じ**大意→明示情報×2→筆者の提案**ですが、(3)は「なぜ音量を上げてしまうか」という**因果の明示情報**で、事実の抜き出しより1段深い読みを測れます。数字が3つ（10億人・60%・60分）出ますが、問うのは数字の暗記ではなく「何の数字か」。保健の内容と重なるので、読後に「自分の音量設定を英語で1文」と続ければそのまま帯の1往復になります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。「イヤホンをやめるべきだ」型の言い過ぎを切れるかを見る
(2)	明示情報	知識・技能	細胞のはたらきの言い換えを見抜く（音をとらえる→脳へ送る信号に変える）
(3)	明示情報（因果）	知識・技能	so や just to の前後関係。「なぜ」の答えを本文の因果から選ぶ
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	数字を含む提案の正確な読み取り。似た数字の誤答を切る

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

